

## アマチュア無線のアウトドアスポーツ ARDF

**ARDF** (**A**mateur **R**adio **D**irection **F**inding (アマチュア 無線 方向 探索))

(別愛称 **R**adio オリエンテーリング、**F**O**X**テーリング)

**ARDFer**とは、アマチュア無線のアウトドアスポーツである競技の競技参加者(選手)、競技会運営者そして応援者というARDFを楽しむ人のことです。

一定のルールのもとにFOXハンティングをスポーツ化したもので、5個の電波第1TX～第5TXまで、それぞれ1分ごとに送信されて、5個の発信源にあるポストを捜し、パンチしてその個数と時間を競います。

ARDFは、ヨーロッパで発祥した競技です。1952年にスウェーデンで国内選手権大会が開かれています。日本アマチュア無線連盟(JARL)は1986年ユーゴスラビア、サラエボで開催された第3回世界選手権大会に初めて日本選手団を派遣しています。

日本国内では日本アマチュア無線連盟(JARL)主催で、1987年に全日本大会が行われ、各地方大会、全日本大会、アジア・オセアニア地区大会(Reg.3)(2年に1度)、世界大会(2年に1度)等が開催されています。

競技で使用される周波数は、3.5MHz帯と14.4MHz帯となっております。

### ① 競技クラス

	競技クラス	探索数	年齢
男性	M21	5個	年齢に制限なし
	M19	第3TXを除く4個	大会開催年の12月31日現在、19歳以下
	M40	第5TXを除く4個	大会開催年の1月1日現在、40歳以上
	M50	第2TXを除く4個	大会開催年の1月1日現在、50歳以上
	M60	3個(審判長決定)	大会開催年の1月1日現在、60歳以上
女性	W21	第4TXを除く4個	年齢に制限なし
	W19	第2TXを除く4個	大会開催年の12月31日現在、19歳以下
	W35	第1TXを除く4個	大会開催年の1月1日現在、35歳以上
	W50	3個(審判長決定)	大会開催年の1月1日現在、50歳以上

## ② 大会の種類

種 別	内 容
公認競技大会	ARDF クラブなどが開催する大会
支部競技大会	JARL(日本アマチュア無線連盟)の支部が開催する大会
地方競技大会	JARL の各地方本部が開催する大会
全日本競技大会	JARL が開催する大会
Reg.3 アジア・オセアニア 地区大会	2年に一度開催。 全日本競技大会で優秀な成績を収めた人又は JARL の 希望参加の募集があれば参加も可能。 Reg.1・・・ヨーロッパ、アフリカ、ロシア Reg.2・・・南北アメリカ、カナダ Reg.3・・・アジア、オセアニア(モンゴルを含む)
世界選手権大会	2年に一度開催。 全日本競技大会に参加し、参加資格を得た選手が参加で きる。

## ③ 競技で使用する物



受信機、コンパス、筆記用具、時計等

地図につきましては、主催者側より配布されます。

## 競技の審判員に関して

JARL では、ARDF 競技大会で円滑な競技大会が開催できるように 審判員制度を設け、審判員資格取得者などが中心となって大会の運営をおこなっています。審判員の資格の種別は、A級審判員、B級審判員、C級審判員の3種類です。

### オリエンテーリング競技とARDF競技の違いは？

ARDFなんて聞きなれない名称ですが、簡単に説明すればオリエンテーリング競技の無線版と言って良いでしょう。

- ① オリエンテーリング競技は、スタートから地図と方位磁石を使って指定されたポイントをゲットしてゴールに帰って来る競技です。
- ② ARDFでは地図にスタートとゴールと磁北等が記入されているだけで、指定されたポイント（信号電波の発信機）を探すのに受信機と地図と方位磁石を使います。地図にはポイントが記入されていないので、信号が発信しているポイントを受信機と指向性アンテナを使って探します。

### 競技参加に当たっての安全対策

ARDF 競技は、精神的にも肉体的にもハードなスポーツです。したがって、マラソン競技などと同じように、日ごろの訓練が必要なだけでなく、競技当日は、自己管理による自分の身体の状態の把握が必要であり、次の例のような、健康診断チェックを必ずご自身でおこなった上で、競技に参加してください。

- (1)日頃の自分の状態を十分把握しておき、健康診断等を受けておいてください。
- (2)次に該当する人は、当日の参加をご遠慮ください。
  - ①酒の飲み過ぎ、寝不足と思ったとき
  - ②かぜ気味、下痢気味の時
  - ③心臓や肺に病気があるとき
  - ④頭がボーッとして、のぼせるようなとき
  - ⑤自分の脈拍を知っていて、異常が感じられたとき
  - ⑥胸がしめつけられるようなとき
- (3)身体が不調なときや、競技中、無理だと思ったらすぐやめてください。

競技中の事故については、主催者は応急処置をおこないますが、それ以外の責任は負いません。各自の体力に応じて十分注意して競技に参加することになります。競技に参加する参加者全員が、傷害保険に加入していますので、ケガなどの場合は、すぐに主催者へ連絡してください。（健康保険証を持参すること。）

以上